

世田谷代田駅駅前広場の ワークショップ整備案がまとまりました



世田谷区は、小田急線の連続立体交差事業及び複々線化事業に併せて、世田谷代田駅の駅前広場を道路として整備をします。平成21年度に策定した駅前広場整備計画を元に設置する施設(舗装・植栽・案内板等)のしつらえについて、周辺にお住まいの方や駅利用者にご参加いただいたワークショップで検討を行い、「世田谷代田駅駅前広場ワークショップ整備案」として取りまとめましたので、地域のみなさまにお知らせいたします。(次頁以降をご覧ください。)

世田谷代田駅周辺の街づくり報告会を開催しました...

平成25年2月28日(木)午後7時から、代田小学校ランチルームで世田谷代田駅周辺で行われている街づくりについて報告会を開催し、34名の方にご出席いただきました。

内容 ①代田地域の街づくりの取り組み(基礎調査における中間報告)

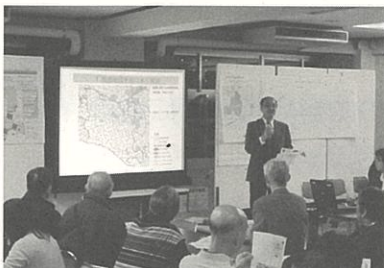
代田地域の地域特性を説明し、今後とも良好な住宅街として緑を守り、より災害に強い街を目指すために、この地域にも街づくりのルールを検討していく必要性があることを報告しました。⇒6頁

②世田谷代田駅駅前広場の整備(駅前広場ワークショップ整備案について)

ワークショップで話し合いまとめた内容について報告しました。⇒2~4頁

③環状七号線横断橋の整備

新たに整備する環状七号線の整備の概要を報告しました。⇒5頁



①最初に、地区街づくり基礎調査の中間報告を行いました。



②世田谷代田駅の「ワークショップ整備案」をみなさまに紹介しました。



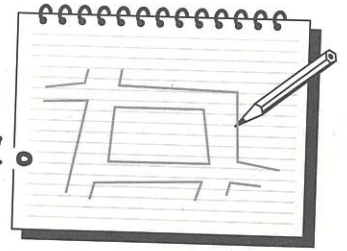
③環七横断橋の整備の概要を完成予想図などを使って説明しました。

問合せ・ご意見の提出先

世田谷区北沢総合支所街づくり課

〒155-8666 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール6階
電話：03-5478-8031 FAX：03-5478-8019

世田谷代田駅駅前広場のワークショップ整備案がまとまりました。



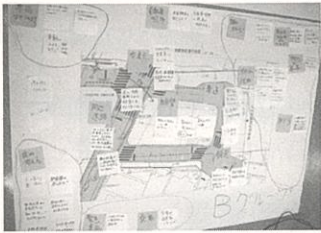
駅前広場内に設置する施設（舗装・植栽・案内板等）のしつらえについて、駅周辺にお住まいの方や駅利用者のご意見を取り入れるため、全3回のワークショップを開催しました。ワークショップでは、駅前広場の使い方、雰囲気や代田の歴史から、みどり・眺望などについて、さまざまなご意見を頂き、検討を行った結果を「ワークショップ整備案」（右図）として取りまとめました。

駅前広場ワークショップでの検討経過

テーマ 第1回
「経緯を知る」

平成24年9月30日(日)開催

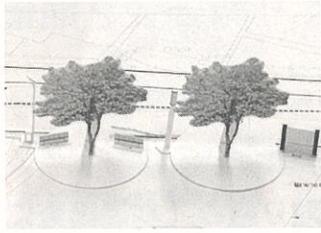
駅前広場の検討の経緯と「駅前広場整備計画」を説明した後、駅前広場のしつらえについて3班のグループに分かれて、図面にふせんを貼りながら意見交換しました。



テーマ 第2回
「しつらえを考える」

平成24年11月18日(日)開催


第1回目の意見を整理した内容を確認した後、駅前広場に設置する施設として植栽・ベンチ等の配置や仕様について、模型を使ったデザインゲームで検討しました。



テーマ 第3回
「整備案をまとめる」

平成25年1月20日(日)開催

第2回で頂いた意見から作成した整備検討案を確認して、掲示板・花壇・樹木等の配置や樹種などについて意見交換し、ワークショップ整備案として取りまとめました。



ワークショップ整備案(右図)

今後の予定

平成24年度

基本設計

平成25年度以降

実施設計

整備工事

進捗がありましたら、皆様にお知らせしていきます。



平成24年度は、このワークショップ整備案の内容をふまえて、基本設計を行いました。また、ワークショップ整備案の中で「今後の留意事項」とした内容について、今後関係機関との調整を行ってまいります。

現在のところ具体的な整備時期等は未定ですが、駅前広場の整備の内容や時期等に進捗がありましたら、今後とも機会を捉えて皆さまにお知らせをしていきます。

世田谷代田駅と東北沢駅の駅前広場ワークショップ整備案は、ホームページでご覧になれます。

今回、ご紹介している「世田谷代田駅駅前広場ワークショップ整備案」の全文は、区のホームページからご覧になれます。また、同時期に東北沢駅についてもワークショップを開催し、「東北沢駅駅前広場ワークショップ整備案」を作成しました。こちらも、区のホームページからご覧になれます。



◆世田谷代田駅駅前広場 ワークショップ整備案

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00124682.html>

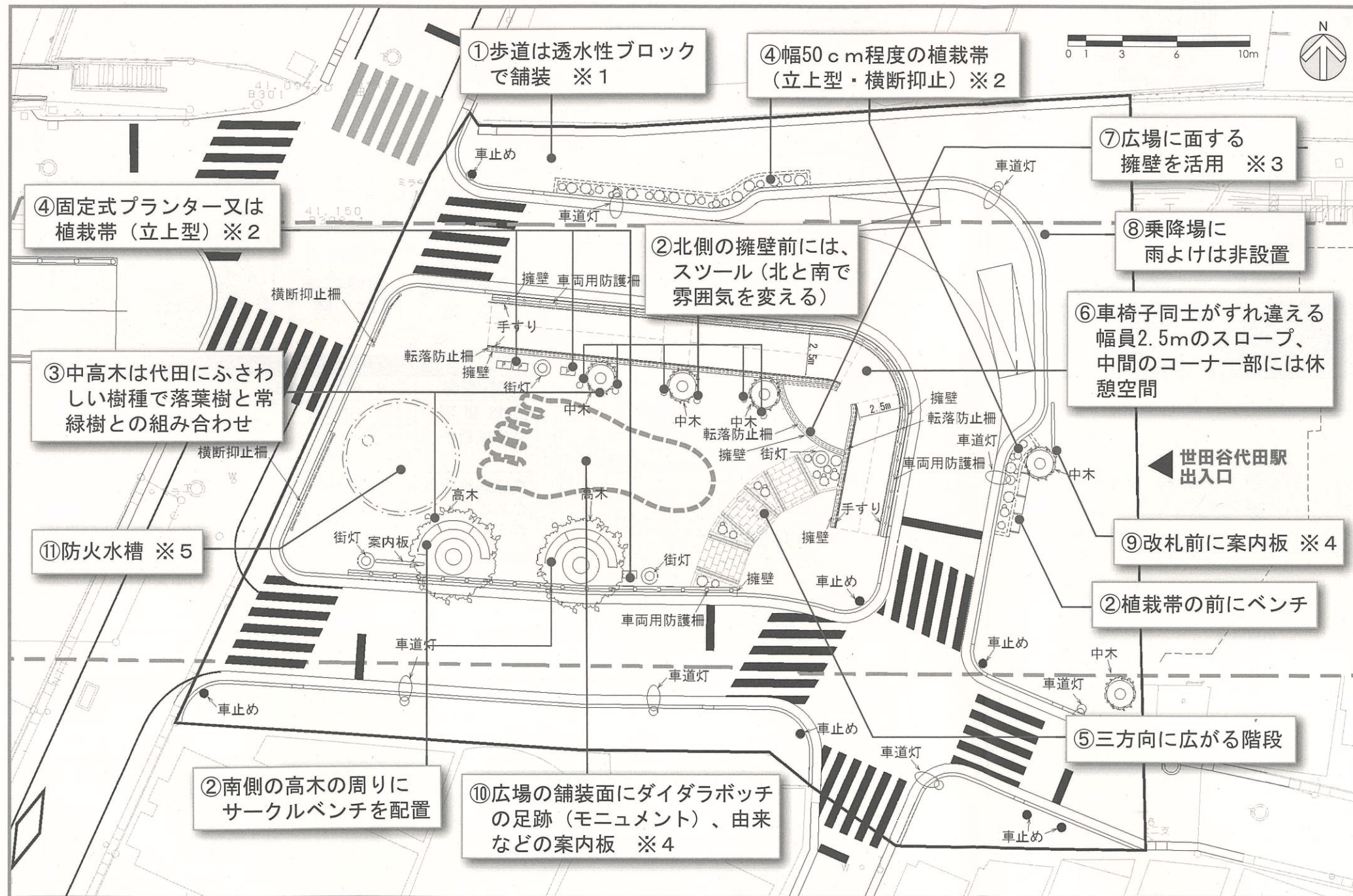
◆東北沢駅駅前広場 ワークショップ整備案

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00124683.html>

トップページ>くらしのガイド
>住まい・街づくり・交通
>街づくり>街づくり
>北沢総合支所管内の街づくり
>世田谷代田駅駅前広場の整備
(又は>東北沢駅駅前広場の整備)

整備コンセプト

おだやかな日常が歴史になるむら ～富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場～



今後の留意事項

- ※1 歩道の色は、上部利用計画との連続性を考慮 ①
- ※2 協定等により住民グループが維持管理する花壇を設置 ④
- ※3 広場内の壁面は、地域の意見や要望を取り入れたデザインや利用ができるようシンプルに整備 ⑦
- ※4 案内板等については、関係機関と協議をして設置 ⑨、⑩
- ※5 防災施設等は、上部利用計画にあわせて必要な施設を設置 ⑪

施設・整備

ワークショップの参加者から頂いた 主なご意見

- ①舗装
 - 雨が浸透する路面の素材に（舗装）
 - 中広場の部分はゴムチップ等の舗装で子供が遊べるように
 - 世田谷代田の駅舎（ガラス張り、透明感）と合わせて、イメージカラーを考える
 - 歩道の舗装は、上部利用部の通路と色を合わせる（グラデーションなども）
- ②ベンチ
 - ベンチがほしいが、寝ころがれないようなものに
 - ベンチの位置は、待ち合わせて駅近くと広場の中に
 - かまどベンチが良い
 - 広場の南と北側は雰囲気を変えてベンチを設置
- ③みどり
 - 高、中木をバランス良く、色々な種類をおりませる様に
 - 高木…落葉とか→富士山が見たい、中木…常緑
 - △広場全体が木陰になるよう 常緑（シラカシなど）多めに
 - 世田谷代田の駅だけちょっと違う樹種でも良い
 - 地元で育った木を
- ④プランター・植栽帯
 - 低木の部分には花を植えられるようにしたらどうか
 - 地域の方が花を育てられる場所を作る
 - 花壇の管理はむずかしいのでは
 - 移動できるプランターとかは
 - 散水栓、スコップ置場があるといい
- ⑤階段
 - 階段で高低差を解消し、広場内はできるだけフラットに
 - △階段上をステージに
 - △富士山を見られるポイントがあれば、広場に高いところは
 - いらぬのでは
- ⑥スロープ
 - 階段にスロープがあると自転車を呼びよすような物ではないか
 - スロープをもっと広くしてはどうか？真ん中の部分
 - △スロープの途中にたまりを そこに、モニュメントを
- ⑦壁面
 - △たまりの立ち上がりの側面に何かできないか
 - △陶板など学校や地域で作ることもできるように
- ⑧乗降場（シェルター）
 - 車寄せには雨よけの庇を車椅子でも乗り降りしやすく
 - 富士山が見えるように！「広く」使える
- ⑨案内板
 - △案内板がほしい（デジタル時計付）腰高
 - 駅前と広場の入り口にほしい（地図など）
 - 乗る人と降りる人用
 - △案内板の中に時計（腰の低い物）
 - また、代田の由来なども入れたほうが良い
 - ダイダラボッチと富士山を紹介する案内板
- ⑩モニュメント
 - 世田谷代田のシンボリックなもの
 - モニュメントがほしい（代田の歴史）だいだらぼっち
 - 小田急線があったことを残すもの（線路の絵）
 - ダイダラボッチの足あと（舗装の色を替える）を広場に
 - とか（踏まれて地面が下がった（高低差）イメージ）
- ⑪防災施設
 - △マンホールトイレ、防火水槽は必要 工夫して設置を
 - △防災倉庫等は配置計画に応じて設置すればいい

凡例

- ①～⑪ : 施設・設備の番号は、ワークショップ整備案の番号と対照しています。
- : ワークショップ整備案に取り入れた考え方や反映できた意見
- △ : ワークショップ整備案の一部に取り入れた考え方や反映できた意見
- : その他（駅前広場の検討範囲外の意見、ワークショップ整備案では見送った意見等）

環状七号線横断橋の整備について

経緯

赤堤通りの環状七号線の横断部分には、宮上陸橋（車道）と代田歩道橋（北側歩行空間）がありますが、歩行空間である代田歩道橋に十分な幅員がなく、これまで地域の課題となっていました。

区は、環状七号線横断部において安全な歩行空間を確保するため、東京都・小田急電鉄の協力を得て、小田急線連続立体交差事業に合わせて環状七号線横断橋を架橋し、赤堤通りの南側の歩道として整備することとしました。

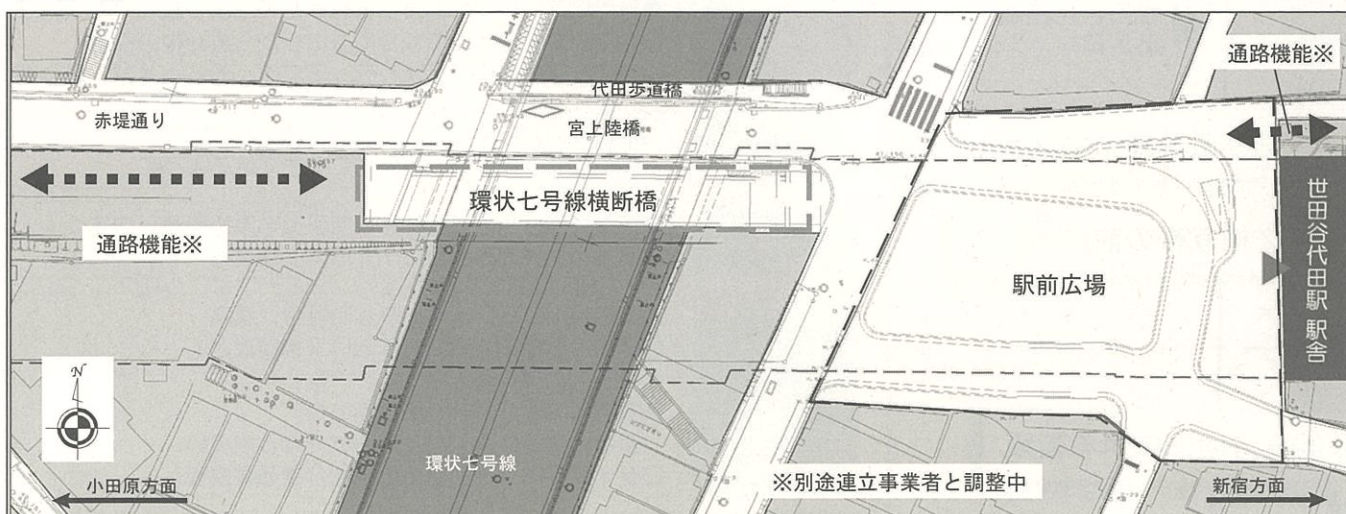


整備箇所の現在の状況



整備概要

平面図



- 横断橋の橋桁は、環状七号線の上空を横断し、橋桁を支える橋台は、地下の小田急線鉄道施設（トンネル）の上に設置します。
- 横断橋の整備にあたっては、東京都や小田急電鉄など関係機関と、安全で効率的な構造及び施工となるよう協議をしています。
- 平成25年度の環七横断橋本体工事の着手に向けて、現在、設計を進めております。

◆既存の宮上陸橋と代田歩道橋については、架け替えをせず維持修繕を行い、新設横断橋と合わせた3橋で環状七号線横断部の道路機能を確保していきます。

<横断橋の構造>

橋長	約43m
幅員	約5.8m（有効幅員5m）
用途	自転車及び歩行者専用
構造	上部構造形式：鋼床版箱桁 下部構造形式：逆T式

駅前広場の検討経緯と今後の予定

平成12年度
広場についてのアンケート調査

広場についてのアンケートや検討・調査をもとにし、駅前広場整備構想を作成しました。

平成13年度
駅前広場整備構想を策定

自主的に地域の様々な課題に取り組んでいる「SAP(*)」より、アンケートやワークショップを経てまとめられた整備提案2案が区に提出されました。

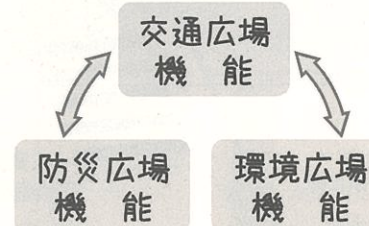
平成20年2月
区民提案

*正式名称は、「世田谷代田を住みよく安心なまちにしよう！プロジェクト実行委員会」

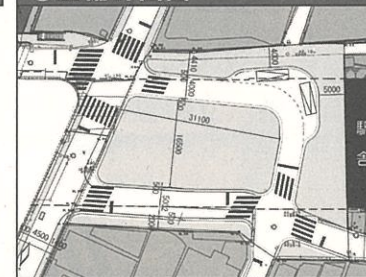
平成22年3月
駅前広場整備計画を策定

平成24年9月
～平成25年1月
駅前広場
ワークショップ
を開催

①求められる機能



③整備計画図



②基本条件

乗降客数	約8,600人/日
区域面積	約1,650㎡
交通施設数	小型車対応:2パース*(うち、身障者対応1、一般車・タクシー等(降車)対応1)
交通施設配置の基本的な考え方	○駅前広場は、既存区道や小田急線用地の有効活用により区域設定する。 ○環状7号線方向などからアクセスする小型車対応の車回しを考慮し、小型車乗降場を配置する。
必要な施設	○緑化施設 ○防火貯水槽 ○雨水流出抑制施設

※パースとは、車両のための乗降場のことです。

代田地域の街づくりを進めています。

駅周辺の整備に併せて、災害に強く、安心・安全に配慮した周辺の街づくりにも取り組んでおり、地域のみなさまのご意見をいただきながら検討を進めています。平成23年度には代田2・5丁目を対象にした3回の意見交換会を開催し、平成24年度は代田1～6丁目の全域を対象に地域の街づくりを進めるための基礎調査を実施しました。

その中間報告として、2月28日街づくり報告会でご報告した内容は、下記ホームページからご覧ください。

◆世田谷代田駅周辺街づくり報告会を開催しました

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/102/120/345/347/d00123858.html>



トップページ > 暮らしのガイド > 住まい・街づくり・交通
> 街づくり > 街づくり > 北沢総合支所管内の街づくり
> 世田谷代田駅前広場の整備

なお、調査した内容は、あらためて本年度に報告会を開催し、みなさまにお知らせする予定ですので、お待ちください。

